



認定NPO法人アイキャン 団体紹介

12月11日（土）国際協力カレッジ

ICAN
INTERNATIONAL CHILDREN'S ACTION NETWORK

主な活動地



フィリピンでの活動

①子どもの家



2015年から行っていて、路上の子どもたちが安心して暮らせる場所です。ここで1日3回を食事がもらって、ベッドに寝ることができて、勉強ができる家です。

2019年3月末、多くの方からのご寄付により2階が完成しました！最大で30人の子どもたちを保護することができるようになりました。今は18人の子どもたちを保護しています！

フィリピンでの活動

②路上教育

シンナーをやめたり、学校に通うことを決める等の行動の変化を促します。また、自分の夢を達成するために何をすべきかを「ともに」考える活動です。



フィリピンでの活動

③社会起業活動

路上の子どもや若者たちが、収入を得て、生計を立てていけるように、社会起業の活動を行っています。

2010年～2015年：パン屋さんになるためのトレーニング
現在：オンラインで商品を守るためのトレーニング



日本での活動

① 国際理解教育



日本での活動

②街頭募金活動



日本での活動

③ フェアトレード



アイキャンSNS

Twitter



ホームページ



Instagram





AHI

アジア保健研修所



誰もが尊重され、健康に生きられる社会に

【相互に作用する AHIの 2 大活動】

地域に根ざした活動

機関誌「アジアの健康」等の作成や
恒例イベント「オープンハウス」で
アジア各国の情報を発信。

また、「学校への出前授業」で
日本の子どもたちへの啓発活動も行う。

国際研修

アジア各国のNGOから12名を
AHIに招待。

住民が主体となって課題に
取り組むことについて学び、
現地で活躍するリーダーに。

【地域に根ざした活動】

＼アジア理解のためのイベント「オープンハウス」／



＼小学校への出前授業／



＼広報誌「アジアの子ども」／



【国際研修】

日本 (AHI)
で学ぶ



現地で実践、
アジアの健康を
守るリーダーに



【現地での研修生の活躍】

～コロナ禍に立ち向かう研修生たち～

感染予防をしながら食料の配給



乗り合いバスに予防ポスターを掲示



オープンハウスについて

企画、準備、運営を行う。

アジアの料理、民芸品コーナー

アジア各国の研修生のお話

(コロナのため、今年はオンラインの可能性もあり)

募集期間：毎年4月～10月頃

活動日：

6月から8月は基本的に毎月2回土曜日開催。

9月からオープンハウス当日までは毎週土曜日開催。



こんな人におすすめ！
→人と一緒に楽しく、ボランティアをしたい人
→イベントが好きな人
→アジアが好きな人
→土曜日の実行委員会に出席できる人

「アジアの健康」 「アジアの子ども」 編集委員

会報『アジアの健康』『アジアの子ども』
企画、編集、レイアウト、イラスト作成

募集期間

随時募集中！

活動日：1か月に2回くらい

活動場所：オンライン or AHIにて



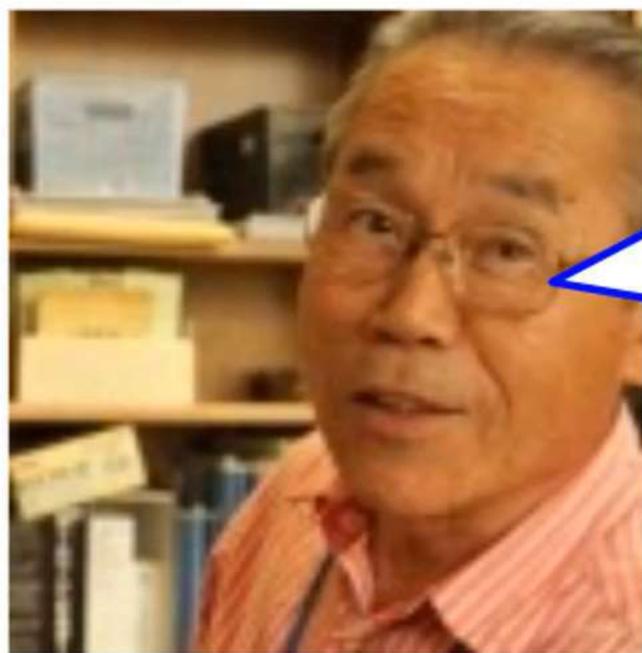
・こんな人におすすめ！
AHIやアジアについて更に知りたい・伝えたい
文章を書くのが好き
イラストを書くことができる人大歓迎！
レイアウトが得意
特別な技術がなくても、好奇心があればOK！

事務所ボランティア

- ・ 電話受け・資料の作成や整理・切手貼り・宛名書き・コピー・掃除
- ・ 月に数回、もしくは週に1～3回など、自分のペースで◎

募集期間：随時募集中！

活動日：月～土 9：00～17：00

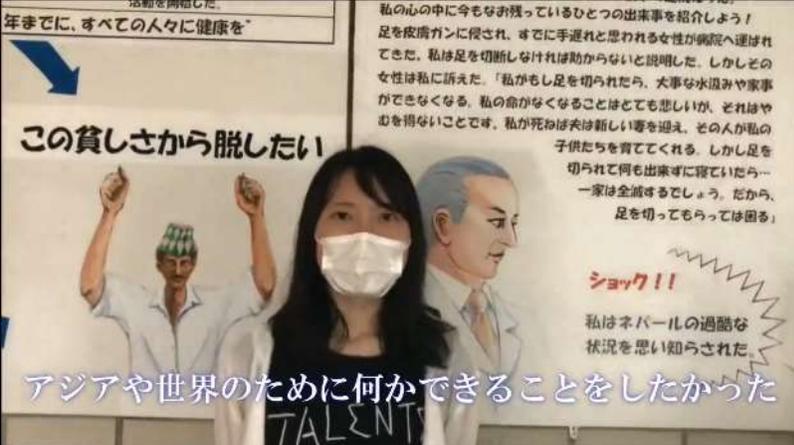


年齢や立場を超えて
いろいろな人と出
会えて楽しい！
自分のスキルを生
かすことができる！

武田正義さん
ボランティア暦：10年

- ・ こんな人におすすめ！
- ・ パソコンが得意な方
- ・ お掃除が好きな方
- ・ 人と話すのが好きな方

★仕事に一区切りがつき、
これから地域の活動に参加しようと
お考えの方も大歓迎です。



ぜひ、AHIを覗いてみてください！

新型コロナウイルスの影響もあり、今年は研修生を迎えることは出来ませんでした。オンラインで元研修生と繋ぐなど現地とのつながりは絶えません。AHIはいつも職員とボランティアで和気あいあい、アットホームな雰囲気です。

少しでもAHIに興味があれば、
気軽にイベントに来てみて
ください。



特定非営利活動法人

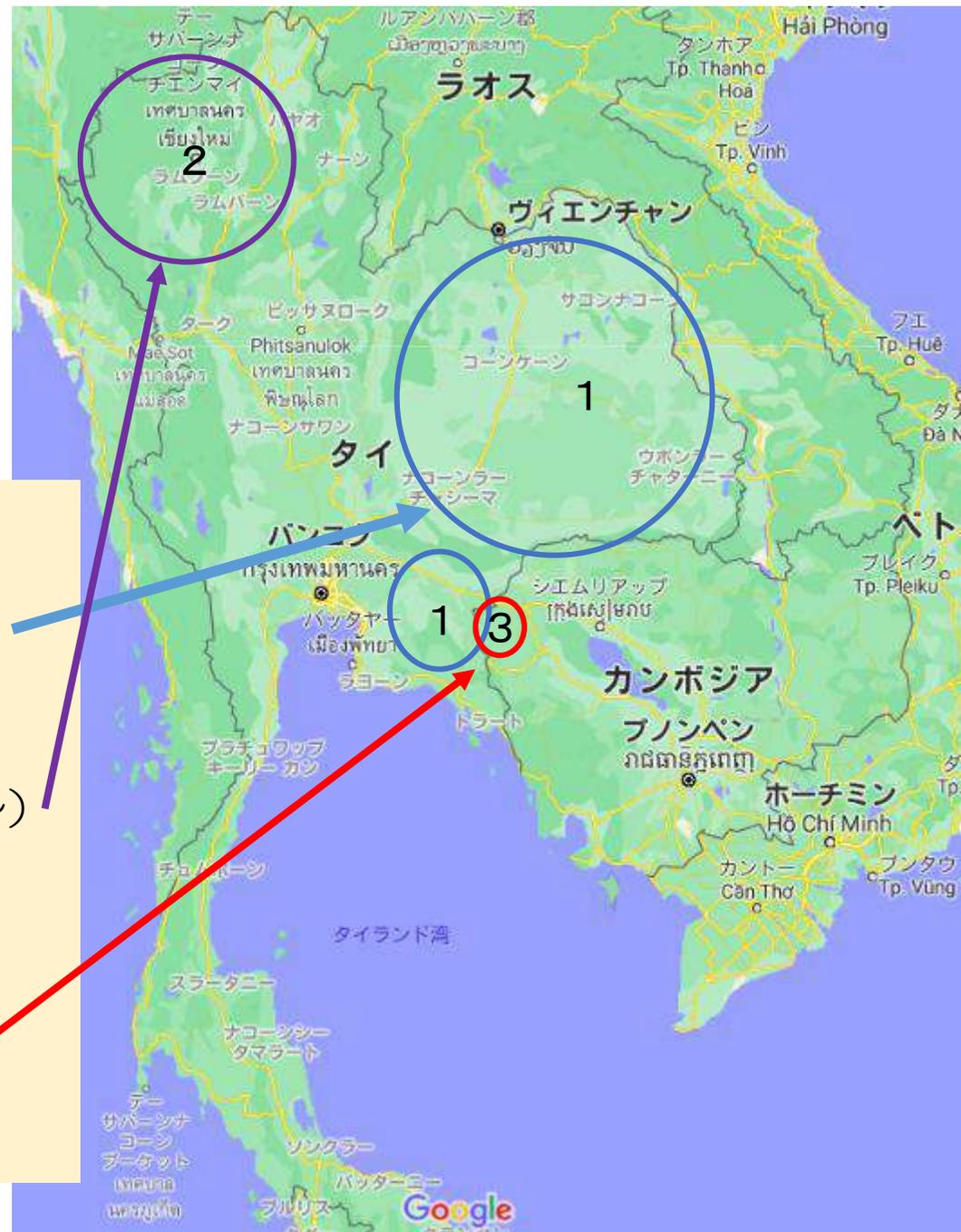
キャンヘルプタイランド

NPO **C.A.N.H.E.L.P. Thailand**

Canada America Nippon Health Education Love Purpose

●活動地域●

- 1 タイ東北部（イサーン地方約10県）（1990年～）
奨学金 学校校舎・図書館建設 給食支援
- 2 タイ北部（チェンマイ、メーホンソン）（2005年～）
山岳少数民族支援 学生寮「カサロンの家」
校舎・トイレ建設
- 3 カンボジア西部サンパオルン郡（2016年～）
学校トイレ、井戸建設 奨学金



●団体概要●

設立：1990年（2015年法人格取得）

創設者：元南山大学教授 故 Dr.ハリー レイ（アメリカ人）

会員数：約40名（2021年現在） ドナー（寄付者）：約150名

年間予算：約200万円

活動の目的：定款 第3条

この法人は、東南アジアの貧困地域の人々に対して、奨学金の授与や教育と生活環境の整備に関する事業を行い、子どもたちに係る問題の改善や解決を図り、教育環境の向上と社会の健全な発展に寄与すると共に、これらの事業への参加および現地との交流を通じ、日本の人々の国際理解の発展に寄与することを目的とする。

事務所：名古屋市中区那古野1-44-17 嶋田ビル203（シェアオフィス）

ホームページ：<http://canhelp.jp>

提携団体：

名古屋千種ロータリークラブ、茨城クボタ労働組合、名古屋NGOセンター、愛知大学タイ教育委員会、FREE（タイ）、YCF（タイ）、サンパオルン教育委員会（カンボジア） など

●スタッフ紹介●



理事長

西川 弘達(にしかわ こうたつ)

タイ王国バンコク在住 50代男性



副理事長

坂 茂樹(ばん しげき)

小牧市在住 40代男性

理事と運営委員

大矢 (40代女性)

松本 (70代男性)

藤井 (30代女性)

寺島 (30代女性)

横江 (50代男性)

監事

久保 (70代男性)

●おもな活動●

・奨学金支援

(タイ) 高校生、専門学校生を対象に年約150ドルの支援 約70名

(カンボジア) 小学校低学年を対象に年約80ドルの支援 30名

・建設支援 (タイ カンボジア)

校舎、図書館、食堂、学生寮、手洗い場、トイレなどの施設を建設
教育環境の改善

・給食支援 (タイ)

学校給食の充実を図る支援(養鶏場、養殖池、学校の農地整備)

学生寮(カサロンの家)の食糧支援(コメ支援、家畜小屋建設)

・図書支援 (タイ)

学校図書の充実(本の寄贈)

現地の学生が手作りした絵本を日本国内のコンクールに出展

タイ



奨学金

1990年から実施。2021年度は
高校生約70名へ支援
毎年7月頃にタイで奨学金授与
式を実施

奨学生から送られてきた手紙
を名古屋に住むタイ人女性の
皆さまと翻訳作業(事務所にて)



建設

1994年から実施
主にタイの東北
地方や北部山岳
地方で図書館や
トイレなどを建設



タイ



学生ボランティアツアー
タイ北部チェンマイにある少数民族の子ども達のための学生寮「カサロンの家」滞在



給食
主に学校へ食堂の整備
や畑、養鶏場などを支援
すると共に、学生寮への
米の支援なども行う。

食堂の整備のついでに
壁画も描きました。



図書
本の支援
タイの学生の手作り絵本を翻訳して日本のコンクールへ応募する活動
2017年、2021年は奨励賞を受賞





カンボジア



建設
バタンバン州
サンパオルン郡の
小学校へトイレや井戸の
建設支援



奨学金
今年度は小学
校1~3年生各
30名へひとり
当たり年間80
ドルの奨学金
を支援



●スタッフの仕事●

国内

- ・経理・・・入金(寄付金)、出金処理などの会計業務
- ・各種資料作成・・・会報、総会資料、助成金申請書等
- ・PC関係・・・会員管理、ホームページ・ブログ・メーリングリスト管理
- ・イベント・・・各イベント出展(メーデーフェス、ボラマッチetc..)
- ・担当プログラム運営・・・奨学金、建設、図書、山岳少数民族支援etc..

海外 (1週間から2週間程度の海外出張)

- ・奨学金授与式(タイ・カンボジア)
- ・スタディーツアー企画運営
- ・視察調査

●参加方法●

- ・ドナー： 各プログラムへ寄付をする
- ・会員： 年会費3千円を収めて会員になる 総会の議決権
- ・ボランティア： スタディーツアーや翻訳会などのイベントに参加
- ・運営委員： 月1回程度の運営会議に出席 会の運営を行う
- ・理事： 年4回程度の理事会に出席。会の運営方針を決める

キャンヘルプタイランドはすべて無給ボランティアで運営されています。
みなさまのご参加をお待ちしております。

詳しくは、office@canhelp.jp まで・・・



特定非営利活動法人 イカオ・アコ



活動地



フィリピン



ネグロス島

ボホール島

団体名「イカオ・アコ
(Ikaw Ako)」は
現地の言葉で
「あなたとわたし」



目標13「気候変動に具体的な対策を」

取り組み①

マングローブ林再生のための植林活動/清掃活動



「マングローブ」とは？－問題背景



マングローブは...
汽水域(海水と淡水が混ざった所)に形成
総称として呼ばれる

魚の養殖地への転換や薪炭生産、紙の原料として
マングローブ林が伐採され、1970年代から4分の1に激減

マングローブを守ることにより 例えば…

高波や洪水を防ぎ
住民の生活安全を
守る



二酸化炭素を
吸収し、地球温
暖化防止につ
ながる

魚・貝・エビ・カ
ニなどの生息
場所ー漁業資
源の安定につ
ながる

清掃活動も重要な理由は…



流れてきたプラスチックのゴミなどがひっかかり、苗が死んでしまう

フィリピンの環境に関する法律で…

フィリピンにある全ての学校を卒業する
学生たち(小学生、中学生、大学生)を対象に

卒業記念として少なくとも
【1人10本】の木を植えることが
義務化されている

⇒環境教育の一環として、今後も
植林活動の重要性を伝えていく





目標13「気候変動に具体的な対策を」

取り組み②

環境教育の実施(フィリピン・日本の学生や企業)



高校での出前授業



企業の社員研修

ご清聴ありがとうございます



Facebook:Ikaw ako
Instagram:ikaw_ako_foundation
メールマガジン
などで現地の活動報告 / イベントの案内
を行っています。

ぜひ、ご覧ください！